

スペシャルすまいる

No. **62**
2020
January

NIKKO City Council of
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



台風19号で被災された県内被災地を支援するため、日光市・日光青年会議所・日光市社会福祉協議会の三者で「日光市災害ボランティア支援センター」を立ち上げました。同センターの活動の一環として、10月～11月にかけてボランティアバス派遣支援を行い、総勢130名のボランティアの方々にご参加いただき、現地で泥かきなどを行いました。



日光市社会福祉協議会
イメージキャラクター「ニッキー」

CONTENTS

● 会長年頭あいさつ	2ページ
● 県外の災害協定社協との地域福祉連絡会	3ページ
● 多様な連携・協働育み事業研修会	3ページ
● わたしの地域の福祉活動（日光、中宮祠、小来川、足尾）	4～5ページ
● 会費・寄付報告	6ページ
● 義援金報告	6ページ
● 社会福祉大会案内	7ページ
● わたしたちの集いの場シリーズ③	8ページ



この広報紙の発行にはみなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使用されています。

2020 新年のごあいさつ

「誰もが安心して暮らすことのできる
福祉のまちづくりを目指して」

社会福祉
法人 日光市社会福祉協議会

会長 高 橋 務



新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、日光市社会福祉協議会の運営並びに事業活動に対しまして多大なるご支援・ご協力をいただき謹んで感謝申し上げます。

今日の我が国においては、急速な少子高齢化、核家族・単身世帯の増加をはじめ、家族機能の低下や地域住民の関係性の希薄化などを背景に社会的孤立、引きこもり、虐待、生活困窮者の増加などの複合的な福祉課題・生活課題が大きな社会問題になっています。

日光市においても、これまでの福祉制度だけでは対応できない、生活のしづらさによる困りごとの相談や地域にうもれて支援に結びつきにくい方への支援が課題となっています。

こうした中、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいとともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が提唱され、身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりや包括的な支援体制の整備の推進が求められています。

また、成年後見制度の利用促進に関する法律に基づき「成年後見制度利用促進基本計画」が策定され、令和3年度までに市町村計画の策定や地域連携ネットワークの構築、中核機関の整備などを計画的に推進することとなっています。このため、日常生活自立支援事業と成年後見制度を切れ目のない支援体制のもとで展開し持続的な権利擁護支援体制を図ることの重要性が高まっています。

本会では平成28年度から5ヶ年計画であります第2期日光市地域福祉活動計画に基づき「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を基本理念として各事業に取り組んでいます。令和2年度で計画の最終年度を迎えることから、これまでの取組の成果や評価をもとに、第3期日光市地域福祉活動計画の策定に向けて市民の皆様をはじめ関係機関、団体と連携を図りながら策定を進めて参ります。

今後とも市民の皆様の期待に応えられるよう、役職員一同、一丸となって日光市の地域福祉向上のために努力して参りますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、この一年が幸せ多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

県外の災害協定社協との地域福祉連絡会!

近年、大規模な自然災害により日本各地で人的・物的被害が多発しています。こうした中、災害復旧に向けた被災者に寄り添った支援が社会福祉協議会には求められています。去る9月27日(金)、「災害時等における相互支援活動に関する協定」を締結している県外3社協(福島県相馬市社協、新潟県妙高市社協、宮城県東松島市社協)と「4市社協地域福祉連絡会」を実施しました。



《連携等のあり方を協議する様子》



《グループワークの発表》

連絡会では、本会の活動紹介をはじめ、グループワーク、交流会などを行いました。グループワークでは「今後の連携・交流のあり方」について意見交換し、「人事交流」や「合同研修会の開催」など、様々な提案やアイデアが出されました。今後は、これらを参考に平時における交流等を進めながら、有事の際の相互支援強化につなげてまいります。

多様な連携・協働育み事業研修会



講師のモジョコンサルティング合同会社
代表 長浜 洋二 氏



研修会の様子

去る10月21日(月)に、日光CSR推進連絡会及びスマイル日光プロジェクトにて、CSR(企業の社会的責任)への意識の高まり、社会全体との関わりを企図したマーケティング方法や社会貢献を行うことに対する理解や活動活動への機運づくり、社会貢献を通じ、社会課題解決のために行政やNPO、自治会、教育機関など多様な社会資源と連携を考えることを目的に研修会を開催しました。

講師にモジョコンサルティング合同会社の長浜洋二氏をお招きし、他地域の事例を基に、地域課題解決に向けた目標を立て方や進め方について講話いただきました。どのような地域なれば目標達成なのか、企業の強みや課題について議論しました。今回の研修会を基に、今後企業としてどんな地域課題に対して取り組むのか、それに対してどのような連携が必要なのかを検討していきます。

日光CSR推進連絡会 <http://nikko-csr.com/>

日光市・日光商工会議所・日光市社会福祉協議会による「日光CSR推進連絡会」。企業の社会貢献活動の啓発・推進や企業の力を地域課題に活かす仕組みづくりに取り組んでいます。

スマイル日光プロジェクト <https://smilenikko.jimdo.com/>

日光市内でCSR(企業の社会的責任)を推進する企業集団による寄付つき商品やプロボノ(専門的なスキルを活かしたボランティア)を通じて社会貢献を実践する企業団体です。

足尾地区

足尾地区福祉ネットワークの取組



足尾地区では、総合的な福祉の体制づくりを目指し、「足尾地区福祉ネットワーク」の構築を進めています。これは孤立者の表出し難いニーズや既存の福祉制度に該当しないニーズ等の困難な問題を、住民と福祉機関の連携により解決していこうというものです。今年の7月2日に初回の会議を催したところ、民児協、すかい荘、庚申福祉会、日足地域包括支援センター、双愛病院より担当職員が参加し、連携することの大切さを理解しました。

今後の展開としては、見守り体制の構築やケア会議の開催、新たな福祉資源の開発などを予定しています。始まったばかりの取組ですが、連携を図りながら「誰もが住みやすい福祉の町」を目指していきます。

日光地区

みんなで買い物に！ ～施設と自治会の連携活動～

日光地区からは、地区内の買い物支援活動を紹介します。

2019年4月から、特別養護老人ホームきびたき荘などを運営する社会福祉法人晃友会（日光市細尾町）と細尾町自治会とが協力し、買い物などの外出が困難な住民を対象に、買い物支援活動に取り組んでいます。日中は使用頻度が少ない施設の送迎車両の空き時間を利用し、住民の方々を商業施設まで送迎します。参加者からは、「一人暮らしのため外出の機会が少なかったが、皆で買い物に行くことができ楽しかった」「楽しい、また利用したい」などの声を聞いています。細尾町で始まった取り組みが広がり、今では清滝等、細尾町以外の自治会でも活動が行われています。地域に貢献したいという施設と、自治会とが協力し、住民の方々の要望等の声に柔軟に対応しています。

日光地区では、様々な場所で『支え合い』『助け合い』活動が活発に行われています。これからも地区の方々とともに協力しながら、地域福祉活動の推進に取り組んでいきます。





小来川地区

ひとり暮らし高齢者等 配食サービス

まごころ込めた“あったかい” 手作り弁当

日光地区社協小来川支部では、ひとり暮らし高齢者等の見守りのため、地域のボランティア（友遊会）が毎月1回手作りのお弁当を届けています。

栄養バランスを考えたお弁当はすべて手作り。毎回30食ほど作っています。



手作りの
お弁当



お変わり
ありませんか



笑顔がうまれる“あったかい”ささえあい

配食も調理と同じボランティアが行います。

自宅へ伺い、お弁当は必ず手渡し。「お変わりありませんか」と声をかけます。

利用者さんも「待っていたよ」「毎月楽しみなんだ」とみなさん笑顔です。

これからも「こころのふるさと小来川」をめざして、住民同士のささえあい活動を続けていきます。

中宮祠地区

笑顔溢れる交流会 ～奥日光の魅力を再発見～

中宮祠地区では、令和元年11月6日（水）に自治会、日光地区社協奥日光支部、奥日光幸寿会、ふくまち委員会、中宮祠デイサービスセンターとが協力し、「紅葉鑑賞会」「奥日光地域福祉推進交流懇談会」を開催しました。

参加者は遊覧船「男体」に乗り、紅葉盛期の中禅寺湖を一周し、奥日光の綺麗な紅葉、湖畔などの魅力に触れながら楽しく交流することができました。紅葉鑑賞後は、昼食を食べながら奥日光の福祉活動や、防災活動等について話をしました。

今後も、今回のような明るく楽しい交流会をはじめ、地区に合った福祉活動を進めていきたいと思っています。



社会福祉協議会会員 会費募集結果のご報告

総額 12,576,365円

令和元年度の社会福祉協議会会費募集につきましては、多くの市民・事業者等の皆さまのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この会費は、本会及び地区社協の活動を支える貴重な財源として、各種事業や会の運営に活用させていただきます。

今後も皆さまの参加を得て、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指した組織・事業運営を進めて参りますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

皆さまのお気持ちありがとうございます

平成30年度は、**919,485円**の寄付をいただきました。

税制上の優遇措置について

日光市社会福祉協議会は、社会福祉法人となっており、本会に対する寄付には所得税法による寄付金控除、法人税法による寄付金の損金算入等の優遇措置があります。

●寄付金控除計算式（個人の場合）

寄付金額-2,000円=年間所得総額から控除される金額

（詳しくは、市税務課又は管轄税務署にご確認ください。）

※控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。

寄付金は、本会の活動を支える重要な財源です。金額の多少を問わず、年間を通じて受け付けておりますので、皆さまのお気持ちをお寄せください。

たとえば、こんな寄付をいただいています。

- 町内会、趣味の会、企業などのイベントでの収益を
- 個人的な記念日等ににあわせて、毎年一定の額を
- 店頭で募金箱を置いて、集まったお金を
- 冠婚葬祭でいただいた慶祝金や弔慰金の一部を（また、返礼の代わりとして）

寄附報告 令和元年9月1日~11月30日

（一般寄附）

順不同・敬称略

取扱	寄附者名	金額(円)
本所	ボランティア・市民活動フェスタ実行委員会	46,769
本所	今市陶友会	20,000
本所	社会福祉法人三光会 誠心園	9,800
本所	日光市地産地消推進協議会	63,395
今市	日光市グラウンドゴルフ協会	8,000
今市	匿名	5,000
今市	小倉婦人会	3,000
今市	ボランティアバス参加者（齋藤 シン）	10,000
今市	矢野美枝子絵手紙教室及び来場者	27,701

（物品寄附）

順不同・敬称略

取扱	寄附者名	品名
本所	町田 正明	チューリップ球根
藤原	匿名	シャンプー、トリートメント ボディーソープ等
藤原	匿名	紙おむつ等
藤原	杉山 栄徳	車いす 1台

「令和元年台風第15号災害義援金」 のお礼と報告

累計額 **31,919円**

日光市及び日光市社会福祉協議会では、被災された方々を支援するために、令和元年10月1日から義援金の募集を行って参りましたが、令和元年10月18日をもって募集を終了させていただきました。

皆様の温かいご支援、ご協力に心からお礼申し上げます。

お寄せいただきました義援金は、日本赤十字社栃木県支部を通じ、日本赤十字社を通じ被災地に届けられます。

★義援金受付期間：令和元年10月1日～令和元年10月18日

★募金箱設置・受付窓口：日光市役所市民課、各行政センター市民サービス係、社会福祉協議会本所、各支所（栗山支所を除く）

令和元年台風第15号災害義援金 協力者名簿(敬称略) ※掲載希望者のみ

取扱	寄附者名	金額(円)
藤原	中三依自治会 秋祭り	4,084

「令和元年台風第19号災害義援金」 のお礼と中間報告

11月30日現在 累計額 **373,762円**

★義援金受付期間：令和元年10月21日～令和元年3月28日

★募金箱設置・受付窓口：日光市役所市民課、各行政センター市民サービス係、社会福祉協議会本所、各支所（栗山支所を除く）

令和元年台風第19号災害義援金 協力者名簿(敬称略) ※掲載希望者のみ

取扱	寄附者名	金額(円)
今市	七本桜麵面の会	10,000
	つくし野ふれあい祭	28,767
	落合地区小倉婦人会	6,000
	音訳ボランティアがわせみ音声ガイド付き映画会	15,000
日光	在宅介護オアシス支援施設ひなたぼっこ	27,002
	植栗 英雄	5,000
栗山	山越 あきの	5,000

皆様のお気持ち
ありがとうございます



お預かりした義援金は全額、日本赤十字社栃木県支部に送金をさせていただきました。（日本赤十字社を通じ被災地に配分されます。）

第14回

日光市社会福祉大会

日時

令和2年2月1日(土)
午後1時～3時30分

会場

日光市今市文化会館

【手話通訳・要約筆記・託児あります】

※託児は事前予約が必要です

入場
無料

記念講演

「認知症予防の食べ方と簡単運動」 ～助け合って築く高齢者の明るい未来～

【フリーアナウンサー・リポーター】

菊田 あや子 氏

1959年11月4日 山口県下関市生まれ。
山口県立下関南高等学校・日本大学芸術学部放送学科卒業。

日本大学在学中にラジオ生放送の司会等、プロとしての芸能活動をスタート。

ワイドショーのリポーターで全国を飛び回り90年代のグルメブーム以降、『日本一食べている女性リポーター』となり、グルメ・温泉・旅番組では、持ち前の明るいキャラクターで活躍し、通販番組のメインキャスターを長く務め、お茶の間にお馴染み、特に全国区で中高年に人気を博す。

近年は長きに渡る取材経験と聴き易いプロの喋りを活かし、「食育」「介護」「話法」「コミュニケーション」「おもてなし」など多岐にわたる内容で講演活動で全国を飛び回っている。



■日 程■

- | | | |
|-----|--------|--------------------|
| 第一部 | 13:00～ | 式典(日光市社会福祉協議会会長表彰) |
| 第二部 | 13:40～ | 議事(大会宣言) |
| 第三部 | 14:00～ | 記念講演 |

■主催：日光市社会福祉協議会

■後援：日光市

【お問い合わせ先】社会福祉法人 日光市社会福祉協議会(担当：樽谷)

〒321-1261 日光市今市511-1 TEL.0288-21-2759 FAX.0288-21-3110

みんなが“ニッコリ”助け合い、“ホッ”と安心できる場所 わたしたちの集いの場

『集いの場』とは、地域住民の誰もが気楽に立ち寄ることができ、自由な時間を過ごすことができる場所のことです。この集いの場から人と人とのつながりが生まれ、助け合いや支え合いが育まれます。また、集いの場に通ったり、人と交流の機会を増やすことで、介護予防や長生きしやすいなどの思いがけない効果が得られたという調査結果もあります。今回も市内で見つけた**素敵な「集いの場」**をご紹介します。皆さんも「私たちの集いの場」を見つけてみませんか。

今市地区 土沢自治会健康教室

- ◆開催日時：毎月1回（ちよきんアップ体操は毎週金曜日）
- ◆開催場所：土沢公民館



土沢自治会では、会員の健康力アップのために地域住民の有志が集まり、健康に関する講話や体操等が行われています。9月は管理栄養士から「栄養バランスや減塩について」話を聞き、その後はちよきんアップ体操に取り組みました。これをかわきりに、毎月の健康に関する講話や毎週金曜日のちよきんアップ体操に取り組んでいます。

豊岡地区 倉ヶ崎市営住宅「ティータイム」

- ◆開催日時：毎月1回 13:30～15:00
- ◆開催場所：倉ヶ崎市営住宅 LSA 室



シルバーハウジング入居者の方を対象に月1回集まっています。みんなでお茶を飲みながら、昔懐かしい曲を楽しく歌っています。

大沢地区 サクラカフェ

- ◆開催日時：毎月第2・第4木曜日 10:00～15:00
- ◆開催場所：個人宅



“お茶飲みサロン”として始まってもうすぐ4年目。毎回10名程が集まり、料理や小物作り、カラオケなどをしながら、みんなで和やかに楽しんでいます。

日光地区 稲荷町2丁目ちよきんアップ同好会

- ◆開催日時：毎週水曜日 10:00～12:00
- ◆開催場所：稲荷会館



地域の仲間が15名程集まり、日光ちよきんアップ体操を行いながら交流を図っています。みんなで声を出しながら体操に取り組み、楽しく笑顔で活動をしています。お気軽にお立ち寄りください。

三依地区 ミニグラウンドゴルフサロン

- ◆開催日時：第2火曜日・第4月曜日 9:30～11:00
- ◆開催場所：旧三依保育園園庭、三依公民館会議室



地域おこし協力隊が主催で、毎回10名程度の参加者が集まるサロン活動です。クラフトゴルフやスカットボールなどの運動をしたり、談笑しながらお茶をのんだり、のんびり楽しく交流しています。

栗山地区 野門集まる会

- ◆開催日時：毎月第2水曜日 10:00～12:00
- ◆開催場所：野門集会所



『野門集まる会』では、月に1回、地域の集会所に集まってニュースポーツや脳トレ、お茶会など、みんなで楽しく交流を深めています。また、この場から野門の名物、赤芋を使った料理が発案されマルシェに出品するなど新しい試みも生まれています。

※「日光ちよきんアップ体操」とは、基本となる6つ動きを約20分かけてゆっくりと行う体操です。毎週1回以上続けることで、日常生活に必要な身体の筋力アップが期待できます。

日光市社会福祉協議会では、皆さんが笑顔で集まっている素敵な「集いの場」を推進しています。また、「近くにこんな集いの場があるよ！」という情報や「集いの場に行ってみたいな！」「集いの場を作ってみたいな！」というお気持ちなど、集いの場に関することは右記までご連絡ください。【連絡先】 地域支援チーム 0288-21-2759

スペシャルすまいる

No62 2019.12.25

■編集・発行／社会福祉法人 日光市社会福祉協議会
〒321-1261 栃木県日光市今市511-1（日光市役所春日町庁舎内）
TEL 0288-21-2759 / FAX 0288-21-3110
ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>
印刷：株式会社 成文社